

親鸞聖人750回大遠忌法要

新しい宗門の幕開け



鷺森
別院

音楽法要に
「感動」



「親鸞聖人750回大遠忌法要」が昨年、11月24日から28日までの5日間、鷺森別院で勤修された。この法要期間中に寺族婦人会、仏教壮年会、門徒総代会、仏教婦人会の研修会もあわせて開催され、親鸞聖人の遺徳を偲ぶ人々で境内は賑わった。

このたびの法要では大遠忌のために新たに定められた「宗祖讃仰作法第一種・第三種」によってお勤めが行われた。「第三種」の音楽法要は、雅楽・コーラス・エレクトーンが美しく調和した荘厳なお勤めが特徴的。参拝者の多くが「感動的でした」「心に響く素晴らしい法要でした」とこの法要に出会えたことを喜んでいた。

ご満座の28日には「子どものつ

発行 和歌山教区基幹運動推進委員会
編集 教区報編集委員会
和歌山市鷺森1番地
鷺森別院内
電話 和歌山(073)422-4677
FAX 和歌山(073)428-2450
発行人 杉本 正信

どい」が開かれ、約1500人の子どもたちが参加。元気な子どもたちの歓声がこのたびの慶事に花を添えた。

和歌山教区では一昨年の末から各組において「大遠忌お待ち受け法要」が勤修され、「大遠忌法要」円成にむけての機運を高めてきた。このたびの鷺森別院での「750回大遠忌法要」を盛大に終え、いよいよ4月から本山で始まる「大遠忌法要」の団体参拝等の準備が大詰めを迎える。



このたびの法要ではお勤めの後に、『御伝鈔』が拝読された。

鷺森テレホン

紙上法話

杉本正信

(鷺森別院輪番・和歌山教区教務所長)

新年を迎えられ、皆様方におかれましては、ますますご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

「今年も健康で一年がすぎせますように・・・」と、新しい年を迎える度にそのように思っておられる方も沢山いらっしゃると思います。昨今、医療技術が進化し、病気になるっても、比較的早く完治するようになりました。しかし、病名は病名がわからなければ、どんな治療をしていいのか、またどんな薬を飲んでいいのかわかりませんし、値段が高い薬・最新の薬だといっても、症状にあった薬でない

と病氣は治りません。私たちは、実は目には見えたり感じたりはしませんが、病氣にかかっているのではないのでしょうか。それは、欲・いかり・愚痴(三毒の煩惱)・・・という病氣。しかも「もつたいたい」とか「お恥ずかしい」という自覚症状もあります。ですから病氣にかかっているのはあの人だと他人事にしてしまっている

「お念仏の人生」

のではないのでしょうか。

自覚症状もない私たちに、阿彌陀様は、「少しでも早く病氣にかかっていることに気づいてくれよ」と一人ひとりにあつた妙薬を調合してくださっているのです。でもその薬は特效薬ではありません。飲んだからといって欲やいかりや愚痴がなくなるものではありません。そのままの私を必ず救うとお誓い(本願)をいただいている薬です。

では、薬があるからといって、自己中心の生活を送っていてもいいのでしょうか。必ず救うとお誓いくださった阿彌陀如来様の大きなお慈悲に感謝申しあげながら日暮らしをさせていただけ姿こそ、真の念仏者ではないのでしょうか。

いよいよ4月より、ご本山では親鸞聖人750回大遠忌法要

がお勤まりになります。50年に一度のご法要を機縁とし、浄土真宗のみ教えが人々の真の拠りどころとなり、いのちある全てのものが心豊かに生きることのできる平和な社会の実現に向けてご活躍いただきますと共に、自分自身を振り返り、いよいよお念仏の声に満ち満ちた生活を送ることを、お互いに確認

鷺森テレホン 法話

24時間いつでもどこからでも

法話が聞けます。

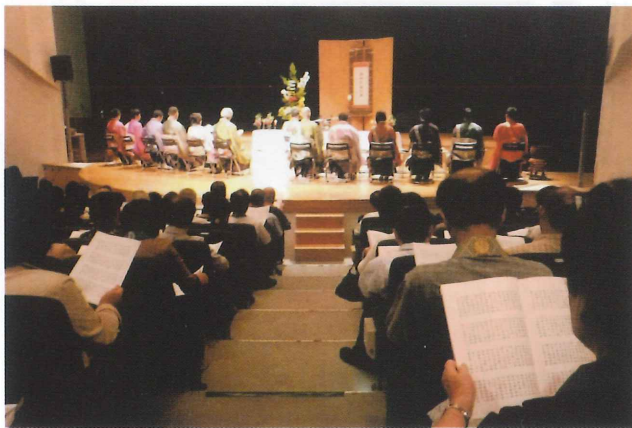
073-422-0243

おにしさん

有田南組 親鸞聖人750回大遠忌お待ち受け法要 勤修

お正信偈のお心を味わい大遠忌をお迎え

有田南組 組長 湯浅正英



昨年、9月18日(土)有田川町のきびドームにおきまして、有田南組のお待ち受け法要が190人の参拝者を迎え厳修されました。この法要を厳修するにあたり、今年4月から始まる親鸞聖人750回大遠忌法要の意義を多くの門信徒の方々に知っていただくには

どうすればいいのかを、一昨年に結成された有田南組門徒推進員連絡協議会のメンバーと僧侶がともに考えました。準備会の中で今、門信徒さんが聞きたいこと、知りたいことをテーマにしてはどうかという意見がありました。そこで「お正信偈の意味を知りたい」「浄

土真宗のご利益とは」など門信徒さんの素朴な疑問に答えられるような法要を開催することとなりました。

当日は残暑厳しい中、午後1時から法要となり、総代会、仏教婦人会、若婦人会、門徒推進員連絡協議会の方々の献灯・献花・献

香に続き、組内僧侶13人が教専寺林秀信任職の導師のもと門信徒一同「正信念仏偈」をホール内に響き渡るお勤めをいたしました。引き続き組長の挨拶、橘総長の祝辞披露、鷲森別院副輪番のご祝辞をいただきました。

記念法話は、準備会の中で出されたご意見から「浄土真宗のご利益」の講題のもと、佐々木蓮乗師が日常生活の中で味わう浄土真宗のご利益をユーモアを交え、ご法話いただきました。

閉会式には、恩徳讃の後、有田南組門徒推進員連絡協議会会長竹中康夫氏の謝辞で全日程を終了することができました。また当日は、「お正信偈の意味を知りたい」とのご意見をもとに組内の本勝寺様発刊の「聖典現代語訳」を記念品とさせていただきます。

平素いただくお正信偈のお心を味わい、親鸞聖人750回大遠忌をお迎え申しあげたいと思います。

合掌

海草組 親鸞聖人750回大遠忌お待ち受け 勤修

「受け継がれるお念仏の輪」

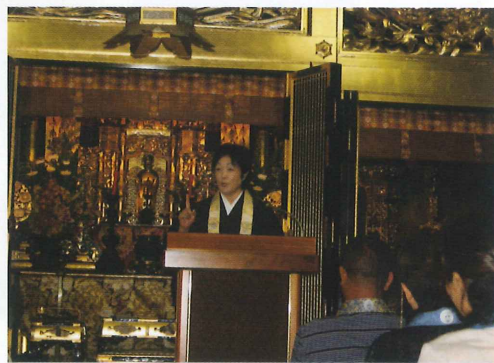
海草組 組長 中山勝丸



「親鸞聖人750回大遠忌お待ち受け法要」が、昨年10月2日(土)に海草組報徳寺で厳かに営まれ、114人が参拝されました。法要当日は晴天に恵まれ、満堂の参拝者のもと、奏楽で庭儀入堂。法要は「正信念仏偈作法」をお勤めの後、杉本正信和歌山教区教務所長から本願寺派総長のご祝辞



の披露とご挨拶、門徒総代会々会長からのご挨拶をいただきました。荻野昭裕宗会議員からの祝電が披露されました。記念法話では組内西方寺住職岩清水昌子師から「仏恩報謝の生活を味わい、念仏の喜びをもった生活をしてほしい」とご法話を頂きました。



記念講演は、弁護士みせけんの三瀬顕けんさんに「身近な生活百科」の講題で

お話をしていただきました。

「世の中安穩が一番である。笑いがあれば幸せを感じられる。笑いあえる家庭が今は少なくなってきたので、その手だてとしてお寺はもつと仏の教えをどんどん広めていくことが求められている」等、自身が体験したお寺での生活や身近な出来事等を楽しみ雰囲気



の中で講演をいただきました。参拝者の方々からは「わかりやすくお話をしてくださった」「このようなご縁に合わせていただいととても嬉しかった」「来年は大遠忌法要に参拝したい」と言う声が聞かれました。

最後に参拝者全員で「恩徳讃」を唱和し、なごやかな雰囲気の中かで法要を終えることができました。

今回、参拝者には法要の記念品として聖典『拝読 浄土真宗のみ教え』と華葩を配布しました。

この度のご縁を契機として家庭での念仏相続に勤め、益々お念仏の輪が広がることを願っています。

合掌

和歌山北組 親鸞聖人750回大遠忌お待ち受け 勤修

「伝えいくことの大切さを痛感」

和歌山北組 組長 北本大城



親鸞聖人750回大遠忌和歌山北組お待ち受け法要が、昨年11月20日、教願寺において、多くの法中、門信徒の参拝を得て勤修できましたこと、うれしい次第です。また教務所長のご臨席もいただき、誠にありがとうございました。私たち浄土真宗の流れをくむ者として、宗祖の遺徳、そしてご法



義を今日の私たちに伝えてくださった先人たちの並々ならぬご苦勞を偲ぶとき、今の私は全く恥ずかしい思いでなりません。多様化していく社会、うすれていく地域のきずな等々、ご門主、総長のことばにも示されていますように多くの課題をかかえる現代社会に生きる私たちは、先人たち



が私たちに残してくださいましたご法義を正しく後の世代に伝えていかねばなりません。

蓮如上人はその時代、その時代のことばでもって真実への帰依の姿を示しています。このことを思うとき、今求められているのは、いかに時代に即した教義を展開していくかであり、「自信教人信」で



あると思います。

本年は本願寺で750回大遠忌法要が勤まります。私たちにとつてこの法要は迷いの根元が何であるか。常に自分自身を深く洞察する機縁とならねばなりません。門信徒の方々もこの法要をたのしみに待っています。私たち僧侶には阿弥陀如来のお救いのすばらしさ、ありがたさを喜びをもって門信徒の皆さんにお伝えすることが求められていることを痛感する次第です。

合掌

親鸞聖人750回大遠忌 安穩灯火リレー 和歌山教区へ

9月16日にご本山を出発し、全国を巡回していた「安穩灯火リレー」が、10月7日和歌山教区に到着した。鷺森別院をはじめ、別院にゆかりのある海南組了賢寺と同組浄国寺で分灯式が行われ、ご門徒をはじめ、寺族・僧侶など多くの方々が参拝した。



鷺森別院では、境内で鷺森幼稚園児をはじめ、多くの参拝者らが灯火を出迎え、奏楽員の先導のもと、厳かな雰囲気の中、御輿に乗せられた灯火が本堂内に運び込まれた。杉本正信輪番の手により順次内陣御尊前へと点燭された。

引き続き、園児による仏教讃歌と清水正宣師の記念法話が行われた。

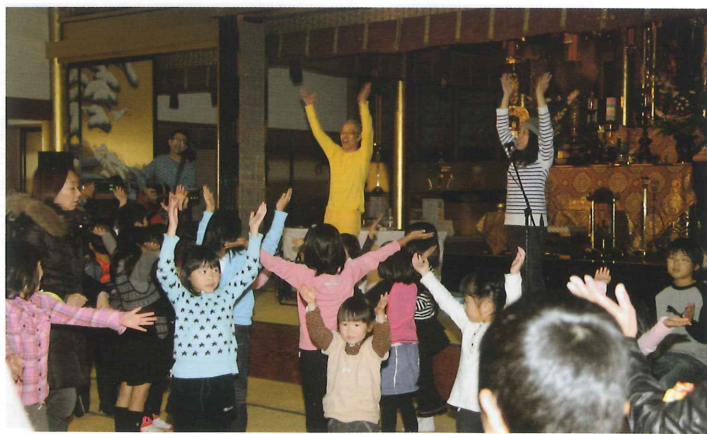
その後、ハクキンカイロやランタンなどを持参した参拝者らに分灯が行われ、各家庭や寺院へ灯火がリレーされた。

今回お寺を代表して参加した海南組教専門徒の谷口京子さんと坂本静江さんは「今晚、お寺で分灯式を行い、ご門徒のみなさんにお分けする。11月にお寺で大遠忌法要に参拝させていただくが、良いきっかけになる」と話していた。

お待ち受け(法要) キッズサンガ 本堂に響き渡る子どもの歌声

11月24日から28日まで勤まった鷺森別院「親鸞聖人750回大遠忌法要」の最終日(ご満座) 28日は子どもが集いとして、教区内の子どもたちと祖父母等150人が参拝した。午前中は音楽法要の練習、昼食には

少年連盟の委員さんが心を込めて作ったカレーライスを頂いた後、お釈迦様と理髪師ウパリーのアニメを鑑賞。午後の法要ではかわいい声を張り上げてお勤めのあと、ニコニコ楽団の指導で歌やゲーム、体操でもりあがった。



付き添いの保護者、祖父母は、初めは躊躇していたが、リーダーに促されてゲームに参加、童心に帰って心も体もリフレッシュできた。

突然静かな声ではじまったお話は、有名な「ハチドリ」のひとしずく。

子どもたちに分かるようにゆっくりとした語り口に子どもたちは真剣に聞き入った。

最後には子ども作品展の表彰を行い、集いを終了した。

短い時間のなかで、盛りだくさんのプログラムだったが、元気な笑い声とお念仏のなかで、子どもたちの心に深い印象の残る法要になった。

ビハラー和歌山 救命講習を開催

去る11月2日、ビハラー和歌山主催で救命講習会を開催した。当日、講習会場となった和歌山市消防局・中消防署で12人が受講した。

講習では、まず救命処置の重要性を学び、その後に心肺蘇生法とAED(自動体外式除細動器)の取扱い説明を受け、モデル人形を用い、実技を行った。

参加者の和歌山東組正善寺坊守吉田敬子さんは「事故に遭遇したとき、救命の知識がなければ、傍観するしかありませんが、今回講習を受けたことで命を救う手助けが出来るかもしれない」と話していた。

なお、受講後には参加者全員に「普通救命講習終了証」が交付された。

社推協主催
バザー・街頭募金を実施

本派社会推進協議会和歌山支部では、去る11月27日に恒例のチャリティバザーを実施、売り上げは11万810円となった。



また、12月1日にはJR和歌山駅前と南海和歌山市駅前で、「歳末助け合い街頭募金」を行い、9万6199円の募金が集まった。バザーの協賛は敬老の日のお祝いに、募金は読売新聞社を通じ「光と愛の事業団」あてに寄託された。

ご協力、有り難うございました。

第35回 西本願寺
近畿地区仏教婦人会
大会開催

12月13日、第35回 西本願寺近畿地区仏教婦人会大会が「大遠忌のご勝縁に問う」をテーマに京都教区担当にて開催された。近畿各地より2000人の仏教婦人が国立京都国際会館に集った。記念講演に赤松徹真本願寺史料研究所所長、アトラクションに講師で声優の一龍斎春水さんを迎え、親鸞聖人のお心を味わう大会となった。

教区からは151人が参加した。来年は大遠忌法要のため休会となる。第36回(2012年度)は和歌山教区担当で開催される。

同朋運動60周年記念大会
本願寺聞法会館にて開催

財団法人同和教育振興会、九州・沖縄同朋運動推進協議会、同朋運動を続ける会、東日本同朋運動推進協議会、近畿同朋運動推進協議会が結集した「同朋運動すすめる5者協議会」では、12月14日に本願寺聞法会

館多目的ホールにて「同朋運動60周年記念大会」を開催した。「御同朋、続けていくから未来がある」をテーマに2000人が集った。



午後1時からの記念法要では、運動推進に尽力された先人に対しての追悼の意をあらわした。引き続きの立会演説会では、共催の各団体よりの代表者が同朋運動の現状とあり方をそれぞれの視点で語り、決意をあきらかにし、念仏者としての連帯を訴えた。

『少年連盟第14回
子ども作品展』

本願寺鷲森別院親鸞聖人750回大遠忌法要にあわせ、子ども作品展が開催されました。

今年は、教区内から170点の作品が展示され、法要期間中、鷲森別院本堂に展示されました。

なお、入賞者は、左記の通り

【絵画の部】

- 本願寺鷲森別院賞 溝上唯斗くん
- 輪番賞 藤原福乃さん
- 少年連盟特別賞 岸本 葉さん

【書道の部】

- 本願寺鷲森別院賞 山野瑞己さん
- 輪番賞 奥野 結さん
- 少年連盟特別賞 小澤 彩さん
- 少年連盟特別賞 山本琴巳さん
- 少年連盟特別賞 浜名果音さん
- 少年連盟特別賞 中村颯佑くん

【工作の部】

- 本願寺鷲森別院賞 浜名祐衣さん
- 輪番賞 出口大輝くん
- 輪番賞 津村晃照くん
- 少年連盟特別賞 藤原夢乃さん
- 少年連盟特別賞 中川優弥くん

少年教化指導者のつどい
開催のご案内

来る6月9日に、少年連盟設立50周年と大遠忌法要を記念し、「少年教化指導者のつどい」が本山での親鸞聖人750回大遠忌法要にあわせて、左記の通り開催されます。

期日 6月9日(木)
会場 本願寺並びに
ホテルグランヴィア京都
参加費 一人1万1000円

寺婦連盟主催
「同朋運動研修会」開催

教区寺族婦人会連盟では、親鸞聖人大遠忌法要を迎える今、親鸞聖人の御同朋・御同行の心を通して学びを深めようと、「親鸞聖人に学ぶ同朋運動」をテーマに同朋運動研修会を鷺森別院において開催いたします。期日は1月20日(木)午後1時30分開会、講師は、同和教育振興会理事の岩本孝樹師。みなさまのご参加をお待ちしています。

***** 教区だより *****

2011年1月

8日 教務所事務開始
17日 第11回布教団連続法座
20日 寺婦同朋運動研修会
23日 別院剪定奉仕
25日 第3連区少年連盟連絡協議会
29日 近畿ブロック保育大学講座
31日 和歌山・人権研究集会

7日 第3連区青年布教使研修会(大阪/～8日)
15日 門推協開法の集い
16日 仏婦別院清掃奉仕
17日 大阪管区矯正教化研修会(京都/～18日)
19日 第3連区門徒推進員研修協議会(大阪/～20日)
27日 門徒総代会モデル事業(有田北組)

2月

5日 第3ブロック仏壮研修会(京都/～6日)
7日 如月忌(本山)

3月

3日 門徒総代会念仏奉仕団(本山/～4日)
7日 近同推会員研修会(奈良)
8日 第12回布教団連続法座
15日 門推協開法の集い
27日 御坊組お待ち受け法要

***** 別院だより *****

鷺森別院

【別院子ども会】

毎月第2土曜午前10時～12時(3月は未定)
開催日 1月8日 2月12日

【常例法座】

毎月15・16日 午後1時30分～
1月 田中諦康師(滋賀教区)
2月15日 幡多哲也師(兵庫教区)
16日 肥田眞琴師(和歌山教区)
3月 和氣秀剛師(奈良教区)

【春季彼岸会】

3月20日～22日 午後1時30分～ 桐山六字師(滋賀教区)

【孫市まつり】

3月27日 午前11時より

日高別院

【常例法座】

1月20日 午後1時30分～ 田中諦康師(滋賀教区)

【春季彼岸会 日高郡・御坊市戦傷病没者追悼法要】

3月20日 午後1時30分～ 伊藤道雄師(日高別院輪番)

得度

北口博一(和歌山東組 蓮光寺)
中原 優(有田北組 教蓮寺)
三浦恒紀(有田北組 極楽寺)
北本一樹(和歌山北組 浄源寺)

逝去

白樫桂子(和歌山北組 深崇寺)
坊守 平成22年10月3日
藤本昭導(伊那組 極楽寺)
前任職 平成22年10月26日
伊井 宣(和歌山組 極楽寺)
前々坊守 平成22年11月5日

ご生前のご活躍ご尽力に感謝しあげ、謹んで敬申の意を表します。

教務所年末年始のお知らせ

12月27日(月)から1月7日(金)までの間、教務所事務を休業いたします。
① 願記等の通常業務は、1月8日となります。
② 寺院関係者のご逝去など、緊急を要する件は、教務所までご連絡願います。